

平成 24 年 1 月 4 日

〒540-0029 大阪府中央区本町橋 2 番 8 号
大阪商工会議所
会頭 佐藤 茂雄 殿

発信人

ビジネスシーズ研究会

コンプライアンス調査委員会

委員長 大阪大学名誉教授 田村進一

副委員長 福井大学名誉教授 岡崎耕三

顧問 大阪大学名誉教授 西田俊夫

顧問 (株)NBL 研究所代表取締役 西野義則

ベンチャから金品を巻き上げ、盗品で新会社をつくる反社会的一部上場会社社会長兼社長が貴所の副会頭を務めることに対する説明のご依頼

貴会におかれましては、中小企業支援等を通して、地域経済だけでなく、日本経済、ひいては世界経済の発展に大きな寄与をされていることを、心よりお慶び申し上げますとともに、敬意を表します。

本論に入らせていただきます。私どもも日本の経済発展に寄与したいとの思いは同じであり、微力ながら、日夜努力して参りました。しかるに、多数の技術者・学者等の研究会員が営々として智恵と資金を持ち寄って設立・結実したベンチャ企業「エヌビイエル株式会社」(以下、NBL と略) が一部上場企業である日立造船株式会社 (以下 HZ と略す) により金品を事前に抜き取られ、その盗品で名前だけ付け替えた HZ の孫会社「日立造船コンポジットマテリアル株式会社」が設立されました。この会社は実質 HZ のものになるよう裏操作を行い、かつ HZ ぐるみの悪事を気兼ねなく働けるような内外取締役に対する免責条項が設けられております。挙げ句の果てペーパーカンパニーにされた NBL は負債のみを背負わされ倒産させられました。これは特別背任に値する行為であり、かかる反社会的行為は看過できません。また、かかる行為はベンチャによる新しい技術の創造意欲を甚だしく削ぐものであり、我が国の将来を潰す行為であります。

この件につきましては、HZ にコンプライアンスの点からどうお考えか公開質問状を出しておりますが、3 ヶ月経っても返答をいただいております。返答のご様子がないことから、橋梁談合株主代表訴訟の和解条件で設立された HZ コンプライアンス委員会にも調査依頼を出しておりますが、こちらも返答がございません。

この間の経緯は <http://www.nbl-technovator.jp/compliance.html>

に昨年9月より「学者怒る“Save Japan”」キャンペーンとしてweb公開しており、その結果、HZの株価は実質10数%下落しております。主要内容は本依頼状にも添付いたします。

このベンチャを食い物にし、人血（ひとち）造船と揶揄されるHZの古川実会長・社長が貴会議所の副会頭を務められている由、健全な我が国の発展を願う立場から理解できません。ここにその説明を求めます。なお、本依頼はwebで公開しております。ご回答もwebで公開させていただくことを予めご承知・ご理解いただきますようお願い申し上げます。

ご説明受け取り事務担当：590-0522 泉南市信達牧野 631

NBL マテリアル(株) 新家修司 (072-493-3091) shinya@nblmt.jp